



実は多い？ 電気火災！

リチウムイオン電池
の話 vol.04

近年スマートフォンやモバイルバッテリーなどに広く使われているリチウムイオン電池の出火件数が増えています。今回はリチウムイオン電池の特性や注意事項をお伝えします。



Li-ion リチウムイオン電池のメカニズム

リチウムイオン電池はプラス極とマイナス極、それらを分ける絶縁膜、その間を埋める電解液から構成されています。プラス極とマイナス極で蓄えたリチウムイオンを移動させることでエネルギーを貯蔵・放出することができます。

⚠ 熱や衝撃に弱いリチウムイオン電池

これからさらに暑くなる夏本番に入りますが、この時季は自動車の中や海岸の砂浜の上にスマホなどを放置していて、リチウムイオン電池が加熱され発火するケースがあります。自動車の中などは70度を超えるような温度になるので、大変危険です。また、外部からの圧力や衝撃による損傷により、絶縁膜が破損すると、内部ショートが発生し発火するケースがあります。スマホなどの機器は、熱や衝撃を与えないようにしましょう。

目指せ！防災の達人！



このコラムでは、火災や救急、災害などにまつわるトピックを取り上げ、役立つ予防や対策を紹介します。市民の皆さんに「防災の達人」になっていただけるよう情報を発信していきます。

問 福山地区消防組合 府中消防署
府中市府中町堤外119-1
☎ 43-7183

⚠ そのまま捨てたら超キケン！

リチウムイオン電池が原因となり、ごみ収集車やごみ処理施設で火災となるケースが増えています！リチウムイオン電池はリサイクル対象になっているので以下の例のように適切な方法で処分しましょう。



- ▷ 各種バッテリー単体でリサイクル表示があるものは、小型充電式電池のみをまとめて「資源ごみの日」に出してください。引き取り可能な家電量販店に持ち込んでも処分できます。
- ▷ 携帯電話やスマートフォンはリチウムイオン電池が内部に組み込まれているため上記のような処分はできませんが、携帯電話ショップなどで回収が行われています。



▲ 資源ゴミの対象となる小型充電式電池のリサイクルマーク

催しでの火気器具使用の注意事項

◎ 消火器の準備

多数の人が集まる催しでガスコンロや発電機などの火気器具を使用するときは、消火器の準備が義務付けられています。

なお、住宅用消火器については、消火器の準備としては認められません。準備する消火器は、A B C粉末消火器を推奨します。

◎ 露店などの開設届

火気器具を使用する露店などを開設するときは、3日前までに、所轄の消防署長へ届出が必要です。



届出



露店開設届出

届出の様式は、福山地区消防組合のHPでダウンロードできます。

また、露店を開設する際の基準もHPに掲載しているので、参考にしてください。



▲ 福山市のHP

花火での事故を防ぐために



花火は、使用方法を誤ると火災や事故につながります。次のことに注意し、楽しく安全に遊びましょう。

- ▷ 書いてある注意事項を守る
- ▷ 人や家に向けない
- ▷ 燃えやすいものがある場所や風の強いときには、花火で遊ばない
- ▷ 必ず大人と一緒にする
- ▷ 必ず水バケツを用意する

問 福山地区消防組合消防局予防課
(☎ 084-928-1192)